



産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 6日

静岡市長 難波 喬司 殿

提出者 〒424-0824
住 所 静岡市清水区新港町2番地
株式会社J-オイルミルズ静岡事業所
氏 名 事業所長 上原 誠
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 054-351-2733

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社J-オイルミルズ 静岡事業所
事業場の所在地	静岡市清水区新港町2番地
計画期間	令和 6年 4月 1日 ~ 令和 7年 3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	食料品製造業
②事業の規模	資本金 100億円 (J-オイルミルズとして)
③従業員数	約1,350人 (静岡事業所は約260人)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 1 工場平面図 別紙 2 製油工程・マーガリン等製造工程 別紙 3 コーンスターチの製造工程 別紙 4 粉末油脂工場全体イメージフローシート 別紙 5 植物性油脂製造工程における廃棄物発生・処理フローシート

(日本産業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別紙6 参照			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙7 参照	
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 廃棄物の有価物化を実施。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙7 参照	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 廃棄物の有価物化の促進。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) リサイクルや有価物化しやすいよう分別している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別の精度を上げ、産廃を減らし、有価物を増やす。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙7参照	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙7参照	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙7参照	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙7参照	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		

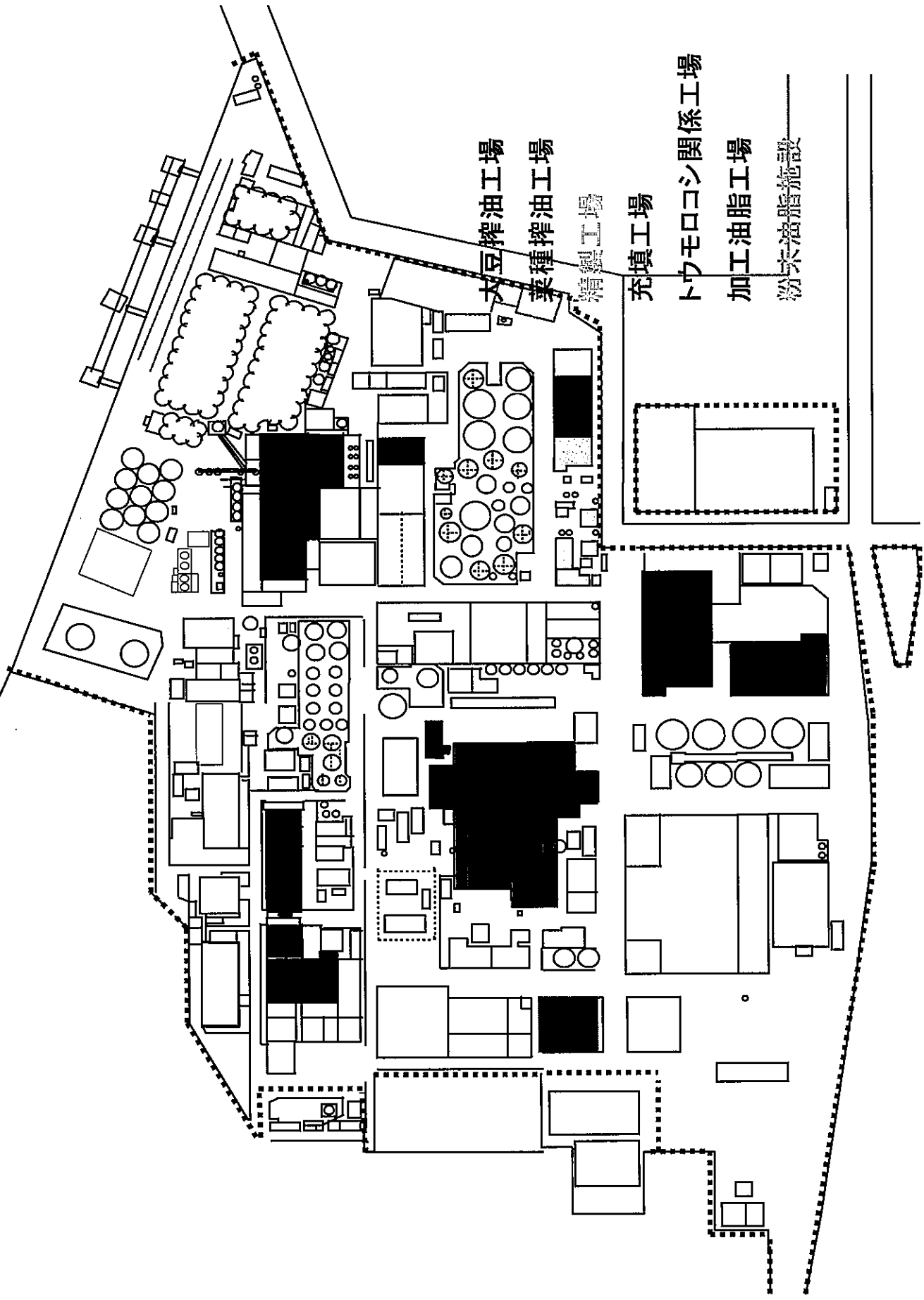
(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙7参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特になし。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙7参照	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙7参照	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 県内処理を推進する。 リサイクルを積極的に進める。		

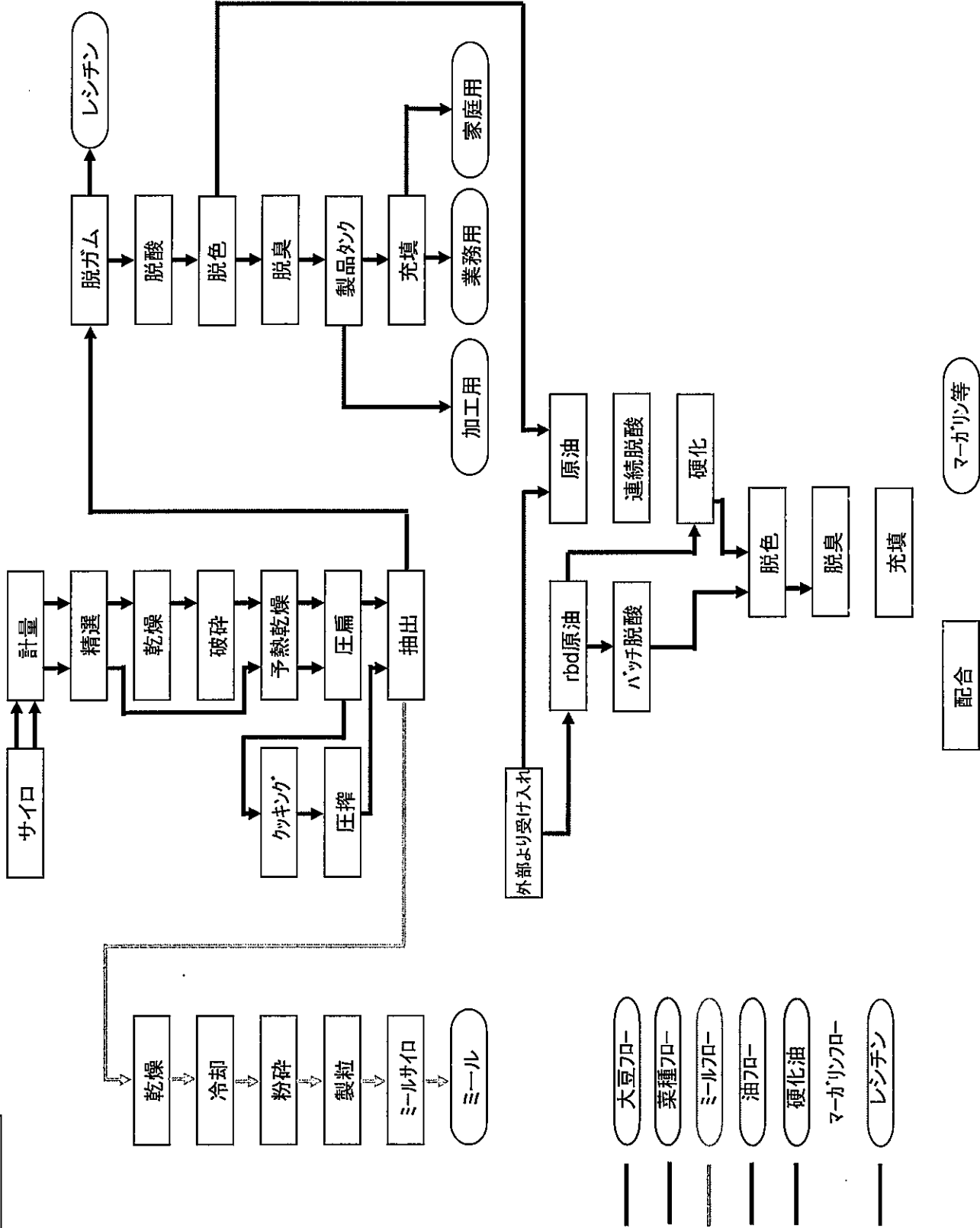
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙7参照	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 県内処理を推進する。 リサイクルを積極的に進める。		
※事務処理欄			

備考

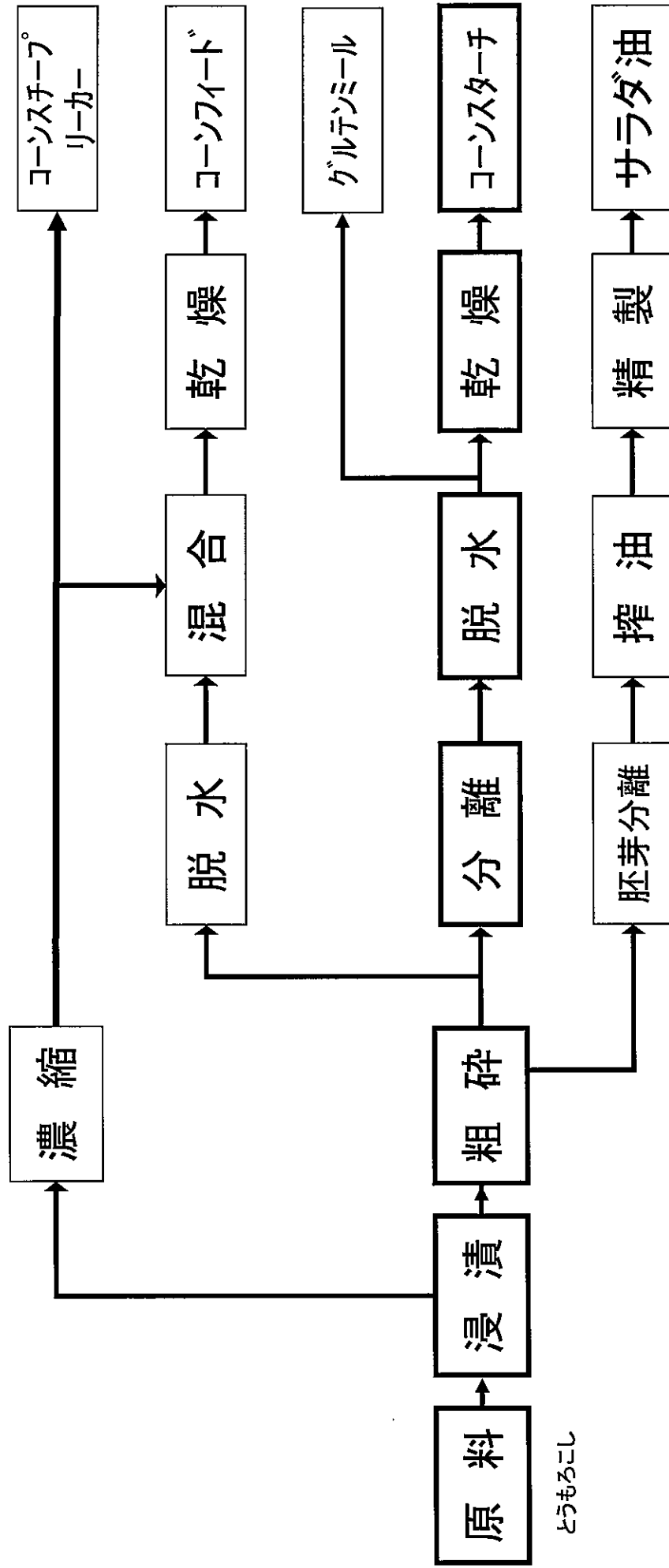
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



製油工程・マーガリン等製造工程



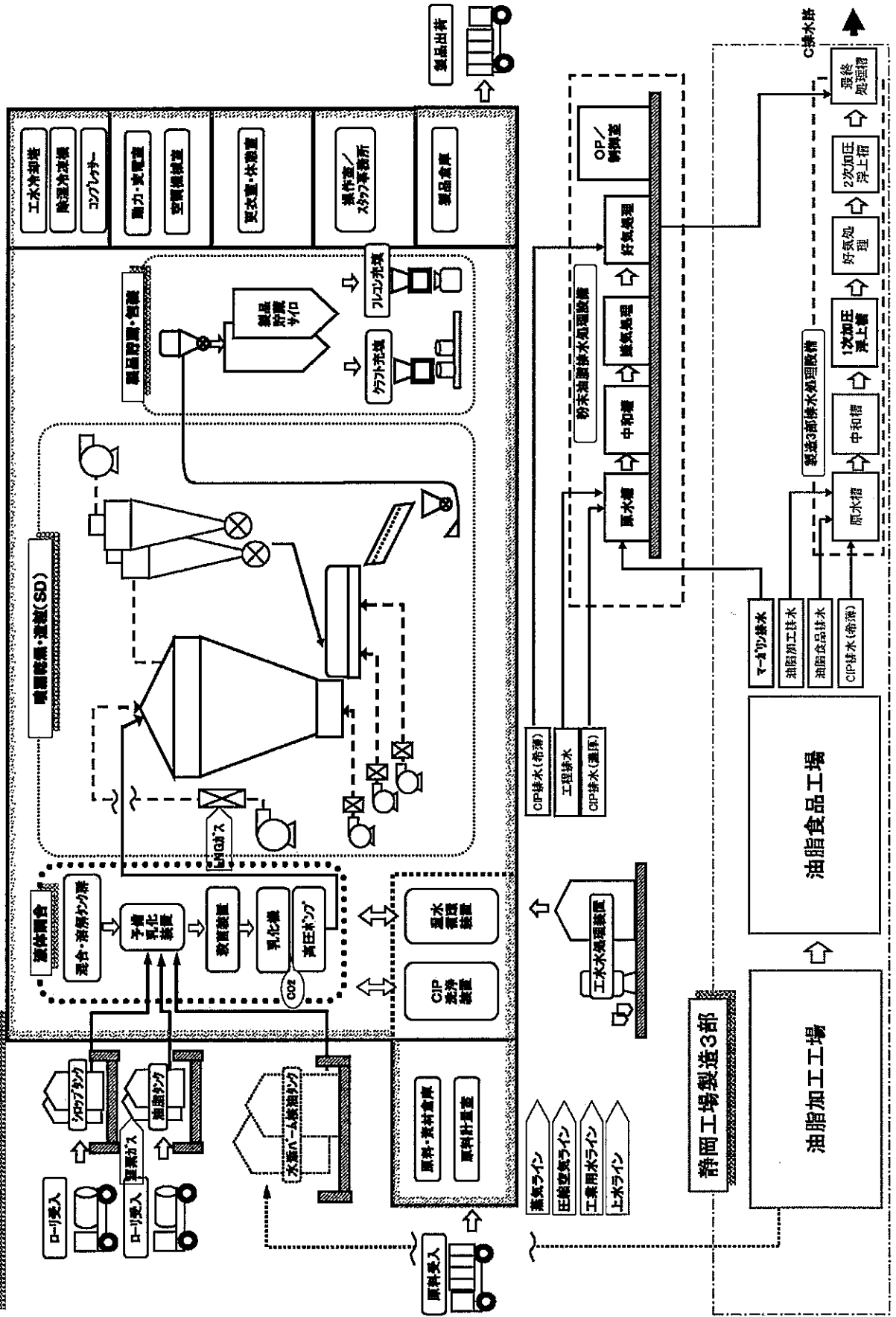
コーンスターチの製造工程(ウェットミリング)



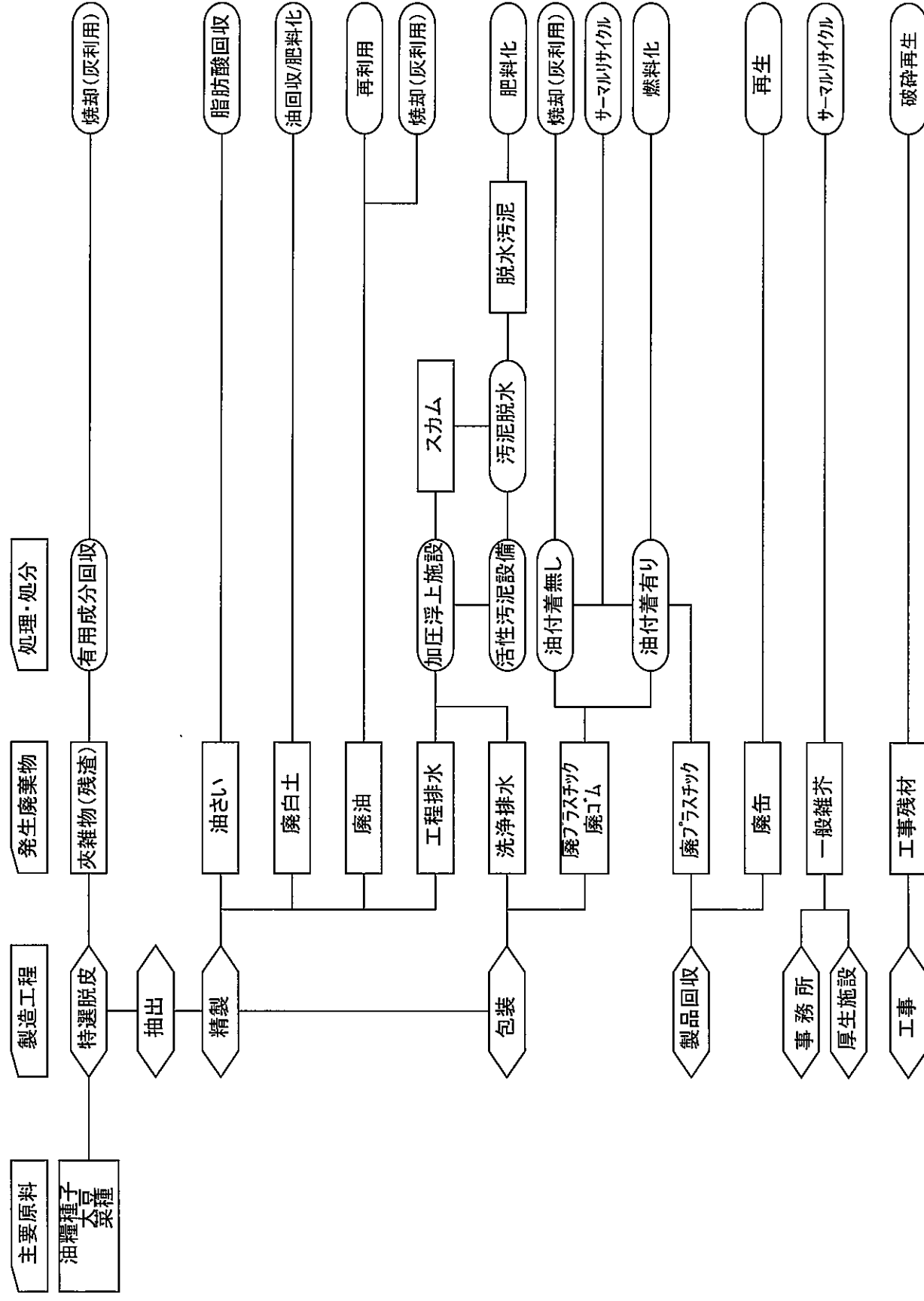
とうもろこし

粉末油脂工場全体イメージフローシート

2011/2/7
工務部



○ ○

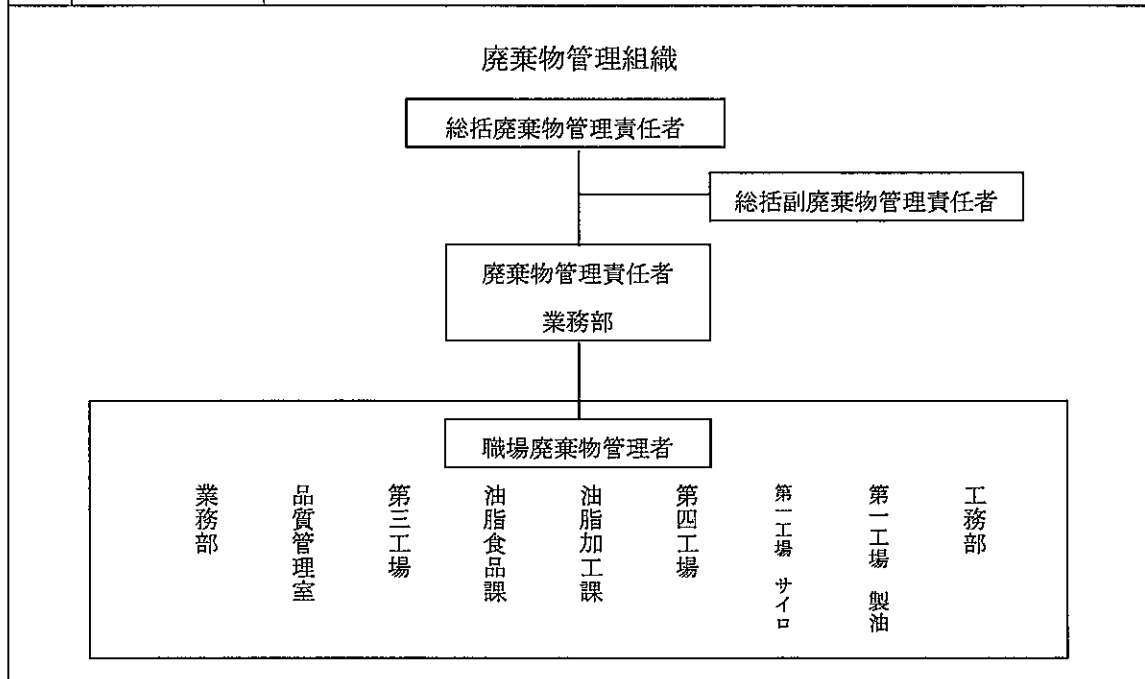




別紙 6

産業廃棄物の処理に係る管理体制

統括責任者		所 属 : 静岡事業所 職・氏名 : 事業所長 上原 誠
廃棄物担当		組 織 名 : 業務部 職・氏名 : 業務部マネージャー 牧野 雅之 組織人数 : 6人
役 割	総括廃棄物 管理責任者	1. 長期的展望に立ち、廃棄物の資源化、減量化及び適正処理について検討し、処理計画等を策定する。 2. 関係法令等で定められている計画、届出、変更、報告書等を作成し、関係行政機関に提出する。
	総括副廃棄物 管理責任者	総括廃棄物管理責任者を補佐する。 (総括廃棄物管理責任者が必要と認めた場合設置する)
	廃棄物管理 責任者	1. 静岡事業所の廃棄物のデータ集計と処理数量を行い、これら再資源化の促進並びに処理費用の削減に努める。 2. 廃棄物運搬及び処分業者等との契約を行ない、契約書及び記録を保管する。また、運搬及び処分業者が契約を履行しているか、違法行為が無いのか、調査確認する。 3. 廃棄物に関する法律、条例等の情報の収集に努め、的確な情報を関係部門に提供する。 4. 産業廃棄物マニフェストの運搬・処分記録を必要期間保存する責任を持つ。
	職場廃棄物 管理者	1. 職場で発生する廃棄物の種類、性状、量の把握を行い、集積、保管、運搬等の作業指示をする。 2. 職場から排出する廃棄物の削減並びに再資源化するための推進者となり、廃棄物のより有効な処理方法や処理業者を検討し、再資源化の促進並びに処理費用の削減に努める。 3. 廃棄物分別置場の廃棄物分別状態を把握し、整理整頓及び指導を行う。 4. 産業廃棄物マニフェストの記載交付を行い、運搬・処分記録を回収する責任を持つ。





別紙7 産業廃棄物処理計画書

[illegible]

